

# 校園長室から



## 学校教育目標

### 共に学び共に伸びる子ども

- ・いのちを大切にできる子ども
- ・だれとでも仲良く協力し合う子ども
- ・意欲をもち学習する子ども
- ・ねばり強くはたらく子ども

令和8年2月12日 第92号

### 冬季五輪の思い出

冬のオリンピックが始まっていますが、真夜中の中継なのでほとんど「生」で見ることができません。朝のニュースで結果を知ってから夜にその競技を見る。そして、翌朝の新聞でその結果が報じられていて、新聞という媒体のスピード感のなさが、なんともわびしい。

ところで、冬のオリンピックが長野で行われた時のこと。

日本の男子スキージャンプ団体戦の行われる朝のこと。職員朝礼で当時の教頭先生が「ちょうど6時間目にジャンプの中継がありますが、授業中なので決して子どもに見せないように」と厳しい注文がきました。周りの先生は、『当然でしょ』という顔つき。

授業が始まって私はそわそわ。ちょうど中継が行われる6時間目は、自分の担任するクラスで授業があります。教頭先生に叱られるのを覚悟してテレビを見るべきか、ぐっところえて授業すべきか。

結果は、何が起きても騒ぐなよと固く約束をして、テレビのスイッチを入れました。4番目に登場した原田選手が大ジャンプを決めたとき、クラスのみんなは、ぐっと息を殺して喜びを封じ込めましたが、最後の舟木選手が大ジャンプを成功させ、金メダルが確定した瞬間、クラス一斉に「ヤッター」と。よく耳をそばだてると、学校全体が大歓声。……なんやみんな見てたんや。

次の日、めったに休まない先生が久しぶりに出勤し、放課後何気なく夕刊を読んでいると、ある先生がその夕刊を指さして、「新聞に映っている写真、先生ちやうの」と。見慣れたジャージ姿でスキーのジャンプ会場で万歳しているその先生の姿が大きく映っていました。しばらくして、その先生、校長室へ連れていかれました。どんな話になったかは、知りません。